

# 2020年のトピックス

## 栃木県酪農担い手確保推進協議会が発足しました！

本県酪農における担い手の確保・育成を推進するために、酪農関係団体・市町・県で構成する「栃木県酪農担い手確保推進協議会」が令和2年7月に設立されました。

協議会では、新規参入者の確保・育成に関する施策体系や今後期待される取組について情報共有を図るとともに、関係機関・団体が一体となった支援体制を構築して総合的な対策を推進しました。

今後、協議会の取組を通じ、会員がそれぞれの役割を發揮しながら連携協力のもと、新規参入者に加え、親元就農者や雇用就農者の確保・育成が一層促進されることが期待されます。



第1回協議会の様子

## 第37回栃木県肉用牛総合共進会 種牛の部が4年ぶりに開催されました！

栃木県肉用牛総合共進会のうち、種牛の部については、平成28年度以来、4年ぶりの開催であり、令和4年に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向けた取組の一環として重要な位置づけとなっています。

共進会(種牛の部)には、今後県内の生産基盤を担っていく各地域の若雌及び成牛45頭が出品され、その能力を競いました。また、今回新たに県内農業高等学校の生徒に参加いただくとともに、県内から多数の飼養者が見学を訪れ、審査後の勉強会では、和牛改良に関するポイントなどについて理解を深めました。この取組を契機に、栃木県における和牛繁殖雌牛の改良や飼養管理技術の更なる向上が期待されます。



## 水田を活用した自給飼料（粃米サイレージ）生産が進んでいます！

本県では、価格が高止まりしている濃厚飼料を国産飼料で代替し、畜産農家の飼料費を削減する取り組みの1つとして粃米サイレージの推進を行っております。

粃米サイレージとは、飼料用米を生粃のまま加工し、水分調整・乳酸菌添加を行い密封・発酵して作られる飼料です。

今年度は、新たに県内2か所で粃米サイレージを生産する施設が整備され、合計4か所で生産が進んでおります。

今後、さらに粃米サイレージの生産拠点を増やしていくことで畜産農家の経営安定につながるものと期待されます。



粃米サイレージ生産の様子